



今だけ!
ココだけ!
富岡製糸場西置繭所
保存修理工事の見学
施設オープン

見学ポイント②
富岡製糸場の展望と展示

見学施設3階には、ガラス張りのスペースがあり、富岡製糸場の東側が一望できます。また、西置繭所の歴史や工事に関する展示も行っています。



東置繭所や煙突、線糸所を一望できます

見学ポイント③
見学者に優しい

たくさんの人に見学してもらえるように、見学施設の入り口にはスロープを、階段には手すりを設置しています。エレベーターも設置していますので、階段を使うことが難しい人にも見学してもらうことができます。



エレベーター

保存修理工事中の富岡製糸場西置繭所に、工事現場を見学できる見学施設（3階建て）が期間限定でオープンしました。西置繭所の歴史や保存修理について説明する展示や、通常は非公開の鉄水溜（明治8年造の鉄製水槽）も見学できます。

見学ポイント①
現場を間近に
— 進化する展示 —

保存修理を行っている工事現場を間近に見られます。1週間後、1カ月後、1年後と工事が進み変化の様子をご見学ください。



▲ 一部屋根瓦を取り外した様子



▲ 解体作業の様子



▲ 西置繭所の屋根に使用されていた瓦

東置繭所の2階内部も
特別公開中

これまで非公開だった東置繭所の2階内部が、期間限定で見学できるようになりました。

公開期間 乾燥場の解体工事開始まで（平成29年12月予定）

公開時間 午前9時～午後5時

見学料 無料（ただし、富岡製糸場の見学料が別途必要 ※富岡市民は無料）
※混雑が想定されるため、人数および見学時間を制限しての見学となります。



照明に照らされ、独特の雰囲気を出すトラス構造の小屋根

2月5日(金)～

お出掛けください 富岡製糸場資料展

「富岡製糸場資料展一描かれた器械製糸と明治錦絵にみる富岡製糸場誕生の世相」を開催します。富岡製糸場をはじめとする明治初期の器械製糸工場や、第1回内国勸業博覧会で線糸器を動態展示した様子などを描いた錦絵を複製パネルで紹介いたします。普段は非公開の首長館内部を見学する機会でもありますので、ぜひご来場ください。

開催期間 2月5日(金)～2月28日(日)

展示会場 富岡製糸場首長館（ブリュナ館）講堂

● 講演会

日時 2月13日(土)
午後1時30分～

会場 首長館（ブリュナ館）

講師 今井幹夫さん（富岡製糸場総合研究センター所長 兼名誉顧問）

◎参加希望者は、当日直接会場へ（先着30人）

